

第5回勉強会

と き： 2017年11月24日(金) 18:00～19:30

ところ： 愛知工業大学 本山キャンパス

話 題： GPS 機器を用いた教育・研究の目的とその効果

参加費：無料

参加申込み、問い合わせ先：yoshonen@yahoo.co.jp 当日直接でも可

話題提供者：小澤治夫、舘俊樹（静岡産業大学教授）

スポーツ中の身体運動の分析には呼気ガスや二重標識水を用いた分析等によって代謝量を測定する方法が精度の高い方法として行われてきたが、これらの方法は測定が簡便でなく、同時に多人数を測定できないために指導現場では一般的に広まっていない。一方、簡便な方法としては心拍数の変動から運動強度をはかることが広く行われるようになってきている。近年はこれらの方法に加えて、GPS による位置情報から、身体運動の速度・移動量・軌跡をとらえることが可能になっており、比較的簡便でなおかつ精度の高い方法として研究機関や一部のプロスポーツなどの先端的な取り組みとして注目されている。しかし、本器は高額なためまだ本法を用いた研究は日本においては進んでいないのが現状である。そこで本法を用いた本学の研究の試みを中心に紹介する。